

現代日本論講読 / 比較現代日本論講読 I 「現代日本論論文講読」(2013 年度 第 2 学期)

第 8 講 発表と質疑 (11/19-)

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 発表と質疑応答 ; 録画の見直しとふりかえり

1 発表と質疑応答

今日から、各論文の担当 (決定済) にしたがって、発表を進めていきます。

- 発表時間は 10 分 (± 30 秒)。プロジェクタのタイマーで、各自でコントロールすること。
- 発表後に、20 分程度質疑応答。この質疑の時に何を質問するかを考えながら発表を聞くこと。
- 今回あっていない人のなかから 1 人、司会を担当してもらいます。発表が終わったら、質疑を仕切ってください。やり方は任せますが、通常は、まず基本的な事項に関する簡単な質問から受け付け、そのあとで、複雑な質問や、意見を受け付けます。挙手した人の中から、順次指名してください。質問が長すぎる場合や、コミュニケーションがうまくかみ合っていない場合などは、介入してもかまいません。

2 録画の見直しと振り返り

発表内容は、観察室のカメラで録画します。PC 用のファイルを配布するので、次回授業時までに各自で見、感想と反省点を書いて提出してください。

- ファイルは ISTU <<http://www.istu.jp>> 「比較現代日本論講読 I」掲示板で配布予定。学部生・研究生は、に受講申請しておいてください。
- 感想と反省点も、ISTU の当該掲示板で提出。
- 発表者以外の人、意見を書いてかまいません。
- PC のファイル以外に、DVD デッキやスマートフォンなど用のファイルや DVD が必要な場合は、田中まで

「感想と反省点」には、次のような内容をふくめること :

- 発表の内容、構成、時間配分
- 配布資料の内容と読みやすさ
- 提示資料の見やすさ、わかりやすさ、分量
- 発表の際のしゃべりかたや動作 (全体的な特徴と、個別の場面で気になったこと)